

よしかわ 自民・みらい

よしかわ「自民・みらい」議員団報 第23号

発行 行 よしかわ「自民・みらい」議員団

発行責任者 中嶋 通治

連絡先 <http://www.jimin-mirai.jp/> <http://ameblo.jp/jimin-mirai/>



平成29年度一般会計予算可決 予算総額257億4700万円 (前年比26.7%増)

平成28年度補正予算も合わせて可決 市長提出議案、当初7件、補正5件、条例等13件の計25件全てが可決されました。

ふれあい・交流・協働のまちづくり

- ①自治会支援事業費 4,983万3千円
- ②市民参加推進事業 373万3千円

躍動・活力・賑わいのまちづくり

- ①農業振興事業 984万4千円
- ②工業団体支援事業 89万5千円
- ③商業活性化推進事業 265万7千円
- ④観光振興事業 397万円

うるおい・安心・快適なまちづくり

- ①道路照明灯整備事業 6,695万7千円
- ②交通安全運動推進事業 818万9千円
- ③ごみ減量化事業 5,166万2千円

生きがい・学び・伸びゆくまちづくり

- ①中学校建設事業 20億5,762万8千円
- ②教育振興事業(小学校・中学校) 8,929万2千円
- ③社会教育推進事業 957万7千円

まちづくりの推進のために

- ①新庁舎建設事業 35億1,511万1千円
- ②住民基本台帳事業 2,315万5千円
- ③広報・広聴事業 849万5千円

元気・健やか・幸せのまちづくり

- ①待機児童緊急対策事業 102万1千円
- ②児童健全育成事業 1,177万9千円
- ③障がい者日常生活支援事業 6,470万円

中嶋通治議員(会派代表)代表質問

「まちの住みよさを高めるについて」

質問 人口自然減地区における出生数を伸ばすために新たに転入してきた市民が定住化できる具体的な施策は。

答弁 子どもの笑顔と活気で街を満たす。子どもたちの育成。子育て、出産プラン。協働のまちづくりを進めていくことが大きなテーマとなる。

「公共交通網の整備について」

質問 高齢化が進む中、買い物、通院難民、運転免許証を自主返納した方等、足の確保が喫緊の課題である。

答弁 移動実態調査を踏まえ精査。経済的に今後もしっかり運営できるような形で今年度中に必ず試行し、しっかりしたものにする。

要望 行先の課題、病院、市役所、駅、市内だけに限定するのか課題が出てくる。地区ごとに考え、制度設計していただきたい。



「躍動・活力・賑わいのあるまちづくりについて」

質問 新流山橋の建設により市内に都市軸道路とその周辺の整備が予定されているが、今後、三輪野江地区の発展に向け、どのように近隣市と連携を取り発展させるのか。

答弁 全体を開発することは不可能。三郷市と歩調を合わせる事が大事。スマートインターも大型化、両通行方を三郷市から聞いている。現在、現場レベルで意見交換をしている。将来検討エリアとして、しっかり選定していく。

質問 ベトナムで開催される「ジャパンベトナムフェア」に市の観光協会が参加するための支援をするとの事であるが、先に参加された埼玉県主催の「埼玉県物産&ツーリズム in シドニー」に参加した課題は。

答弁 行政がリスクを負い突破口を開く。販路拡大が目指せるかを調査。事業者が熱意を持って参加することが大切。また、市内ではベトナム人が400人近く住んでいる。交流を持ち、地域自治に加わることも目的。市内ベトナム人が一緒に行くことも考えている。農産物だけでなく、製造業も経済的につながるように派遣。

「魅力ある農業の振興について」

質問 三輪野江地区で白地地区を青地地区に編入すると聞いているが、吉川市独自の方向性についてどのような考えを持っているのか。

答弁 国の基準が厳しい二重縛りになっている。農業の振興は産業の振興と両輪。産業を誘致することにより財源を確保し、農政に対してインフラの整備にお金を使う。開発すべきところはすべし、守るべき農地は守る。白地を青地に編入することもある程度は必要。地権者の意向もある。常磐道南側は将来検討していく。常磐道北側は近郊農業を立上げ生活の部分整備を醸成したい。消費地が近いので、物流のプラス面、農業体験や、実験的な農場をつくり、新たな作物の発信拠点としたい。産直の販売所、農業的な広場、要望を受け入れながら産業の開発を進めたい。

要望 方向性は三輪野江の人が考え決断。課題は強力なリーダーシップをとって行政がやるべきことはやる姿勢を發揮すべきだった。ここをやらないければ、三輪野江は荒廃する。皆さんの協力を頂きしっかりと区域分けし進めていただきたい。

加藤克明議員 美南地区などを含めた通学路安全対策。今後の方向性は

質問 埼玉県では、通学路の安全確保など改善をしていく方針を示している。県の動向を踏まえ、今後の市の対応は。

答弁 県の方針に基づき、平成28年度に概ね5年毎の通学路安全総点検を実施。今後、通学路整備に基づき順次、対応していく。

質問 平成27・28年度に中曽根小学校区に「ゾーン30」が規制された。国が打ち出した有効な手段ではあるが、「幹線道路に囲まれている、生活道路が集まった市街地の区域」と区域設定があり、全ての通学路に指定できない。今後、東中学校や旭小学校など区域設定外の学区の通学路安全対策は。

答弁 文字強調表示・路側帯カラー化・ハンブなど可能性を含め検討していく。

質問 美南地区が交通規制されていない理由。吉川警察署との協議の内容は。

答弁 協議の中で、まちの熟成に合わせて規制をしていく考えでいる。「ゾーン30」を中心に検討し、平成30年度を目標に考えている。

質問 規制する際の区域割り、年次計画はあるか。

答弁 3ブロックに分け、平成30年～32年の3ヶ年で行う考え。また、吉川駅南側の木売・高富・高久地区周辺については、平成33年頃に進めて行く考え。

質問 年次計画もあるが、市として先行して安全対策を講ずる考えはあるか。

答弁 出来る事は、スピード感を持って対応する。



吉川敏幸議員 防災行政無線の戸別受信機配備について

質問 国が地方交付税措置を講じると言い、防災・減災力の強化に繋がり、さらには、コミュニティ無線として、イベントの通知や市内商店が宣伝等できるなど地域経済活性化も見込めるかもしれない戸別受信機設置に補助金を出してはどうか。

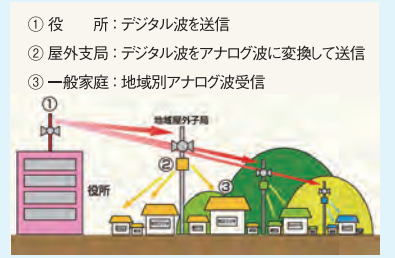
答弁 市のホームページ、ツイッター、テレビ埼玉でも入手できるようにしているが、情報収集に努めていく。(市民生活部長)

ふるさと納税について

質問 2月21日付の埼玉新聞に所沢市は1億4千万円の赤字との記事があった。同じ基準に立てば、吉川市は2千万円の赤字。黒字にならなければ、提供できる行政サービスが減る。きちんと制度を啓発・説明すべきでは。

答弁 他市町村に寄付すると、結局、自分たちに使われるサービスが減っていくので、市民にとってもマイナス。

制度を正しく伝えと共吉川市に寄付したいと思ってもらえるよう返礼品をさらに魅力があり、選ばれる物にしていく。(市民生活部長)



【イメージ図】

都市型近郊農業について

質問 行方ファーマーズヴィレッジのように、体験型農業、農商がタッグを組んだ地元農産物や地元農産物を利用した食品(6次産業)などの販売拠点、ザリガニやクワガタ採り、ホタル観賞ができる場の提供など、農業を中心とした体験型農業テーマパークの建設を長期的なビジョンに入れてはいかかか。

答弁 道の駅などのような販売施設、体験農園や実験農園についての構想がある。今後、市独自の近郊型農業を構築していく中で研究していく。(市民生活部長)

市内行政視察 2月1日

- ・美南中央公園内調整池の流水経路を視察。
- ・吉川・三郷市境、都市計画道路、三郷流山線を視察。
- ・首都圏氾濫区域堤防強化対策事業の進捗状況と汚染土壌の適正処理確認のため下内川地内江戸川河川工事管理事務所を視察。



夕張市市長と意見交換会 2月18日

吉川市にて鈴木直道夕張市長と、夕張市が財政破綻に至った経緯や総務省が発表した財政再生事業のために、夕張市に「特別交付税」措置されるまでの経緯などを拝聴し、吉川市の現状を伝えながら意見交換をしました。この意見交換会は、NPO「ネットよしかわ」のご厚意により開催されました。



議会の正常化を求め、稲垣茂行文教福祉委員長に再度辞任を要求!!

「稲垣茂行文教福祉常任委員長の辞任を求める決議」が12月定例会初日に賛成多数で可決してから3ヵ月、決議を未だに受け入れず、尚も委員長の座に居座り続ける稲垣茂行文教福祉常任委員長。昨年の9月定例会で「市民の会・無所属」の稲垣茂行議員は、「人権を無視した不穏当な発言」により懲罰を課せられ、議場で「陳謝」を命じられた。しかし、その後の稲垣議員・伊藤議員の「9月議会報告」では、事実をねじ曲げた「虚偽記載」を市民に報告した。この事実を踏まえ、12月議会において「稲垣茂行文教福祉常任委員長の辞任を求める決議」が自公共の賛成多数で可決。12月・3月定例会の文教福祉委員会で松崎誠委員から進退を問われたが、本人に辞任の意思はなく、審議未了で会期の延長という結果を招いた。辞任を求める理由として、松崎委員は、12月定例会での公明党小野議員の賛成討論を引用しながら、「きちっと謝罪をして二度とこのようなことを起こさないと誓っていた。悪い言い方かもしれないが、舌の根も乾かないうちという表現をするのかもしれませんが。」と述べた。他にも「稲垣委員長に対し不信は募るばかりで、当常任委員会での審査は無理であると言わざるを得ない。」(公明党五十嵐委員)「本会議で辞任を求める決議が可決されたのだから、責任ある態度をとるのが当然である。」(共産党遠藤委員)「反省しない姿勢を執り続ける稲垣議員は相応しくない。審議が円滑に進められるよう責任を取って辞任して頂きたい。」(共産党雪田委員)などの発言があった。

議会の議決決定事項を遵守せず、未だに委員長の座に居続けている稲垣茂行議員。この行為は、議会軽視であり、民主主義の否定であると言わざるを得ない。私たち自民・みらいは度重なる議会の混乱を正常化すべく、議会の意思を尊重して自らの政治判断で辞任すべきであると強く申し入れをしている。



中嶋通治

よしかわ自民みらい団長
建設生活委員
議会運営委員
東埼玉資源環境組合議会議員
昭和19年生まれ
3期目



松崎 誠

文教福祉委員
昭和32年生まれ
4期目



加藤克明

総務水道副委員長
議会運営委員
江戸川水防事務組合議会議長
昭和42年生まれ
2期目



吉川敏幸

総務水道委員
議会広報委員
吉川松伏消防組合議会議員
昭和53年生まれ
1期目